



20歳 再会と門出

登米市の未来を開く新成人



「若い力で素晴らしい未来を築きたい」と誓った
千葉聡さん(中田)と相澤あき奈さん(東和)

「成人の日」前日の1月11日、登米市成人式が登米総合体育館で開催されました。

今年の成人式は、昨年より120人少ない1,090人(男564人、女526人)が対象。このうち、式典には晴れ着やスーツに身を包んだ918人の新成人が出席しました。

開式前には、旧友との再会を喜ぶ声が響く一方、式典では大人としての自覚を真剣な表情で受け止めていました。

今日、わたしたちは無事に成人式を迎えることができました。成人式を迎えるにあたり、自分がどのくらい大人になったのかと考えてみても、よくわからない自分がいます。それは、今までの人生がまだ全体の4分の1にしか過ぎないからだと思います。これからの4分の3をどのように過ごしていくかを考える分岐点ですが、今なのかもしれません。

しかし、成人となった今、わたしたちは自分の行動に常に常識と責任を持って生活していかなければなりません。

わたしも4月から社会人になります。日々の生活を通して、社会のつらさ、不安などプレッシャーで押しつぶされそうなきは今日を思い出し、頑張っていきたいと思えます。

両親、先生、友人、多くの人に感謝 社会人として責任を持った行動を

また、わたしたちを今日までこんなにも健康に育てくれた両親、教え導いてくれた先生、時には一緒に笑い、一緒に泣き、支え合った友だち、そして、周りで支えてくださった大勢の人に深く感謝いたします。これから幾度となく困難や悩みにぶつかることがあると思いますが、一つ一つ乗り越え、少しずつでも成長していきたいと思います。

今、新成人としてわたしが思うことは、責任・明朗・団結・礼儀・節度の5つの言葉です。今まで出会った人、そしてこれから出会う人に対しても、この5つの言葉を大事にし、仕事や生活の中でいろいろなことを経験し、自分を成長させていきたいと思います。

このたびは温かく素晴らしい成人式を開催していただき誠にありがとうございます。

わたしは現在、仙台市内の大学に在学し、今年4月で3年目になります。大学生活では、高校時代にわたしが大学でやりたいと思っていたことのほかに、貴重な多くの経験をさせていただいています。

今までの20年間を振り返ってみると、わたしは周囲のたくさんの人に支えられてきました。それは、家族、先生、友人の存在があったからであり、特に、家族には悩ませたり驚くような発言をしたりして、迷惑を掛けてきました。しかし、一人暮らしを始めるときや外国に一人で行くと決断したときなども、家族はわたしの考えや思いをしっかりと

好奇心と純粋な気持ちを忘れずに 多くのことに積極的に挑戦したい

と受け止めてくれました。いつでも家族がわたしの良き相談者であり、良き理解者でした。わたしがいつも分岐点に立ったときには、両親・先生・友人の支えが必ずありました。

これから多くの場面です。たくさんのかかわることが多くなると思えます。わたしはこれからも人との出会いを大切に、ネットワークを広げていきたいと思います。

成人を迎えた今、人とのつながりや言動の重さなど、社会人としての責任の重さを強く感じています。わたしはこれからも常に好奇心と純粋な気持ちを持ち続け、やりたいと思うことを積極的にやり、周囲の人の支えを受けながら素晴らしい人生を送っていききたいと思います。



二階堂 翔太 さん (豊里町山根)



永浦 美翔 さん (米山町追土地)